



2017年度

おおよど遺産

パンフレット



奈良県大淀町



2016年度おおよど遺産（大淀町選定地域遺産）リスト一覧

No.	名称	分類	地域	選定年月日	備考
1	オカリヤをたてる 御霊神社の秋祭	民俗遺産	佐名伝	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
2	潮の香りと弥生人の記憶 佐名伝銅鐸	もの遺産	佐名伝	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
3	梨の花香る里山 大阿太高原	景観遺産	佐名伝・薬水	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
4	大正浪漫のタイムトンネル 薬水門	近現代遺産	薬水	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
5	薬水の由来 弘法井戸	名所遺産	薬水	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
6	おおみそかの送り火 牛と馬のトンド	民俗遺産	今木	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
7	天まであがれ 大岩のトンド	民俗遺産	大岩	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
8	アメタンモレの伝承 大日如来と大岩神社の神像	もの遺産	大岩	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
9	蓮のつぼみを抱えた大日如来	もの遺産	岩壺	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
10	ワッタイヨーで強くなれ 子ども相撲	民俗遺産	岩壺	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
11	村の庄屋の物語 迎居家の文化遺産	もの遺産	持尾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
12	お正月の風物詩 カンジョウカケ	民俗遺産	畑屋	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
13	忠臣小金吾 伝説をものがたる石塔	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
14	能楽お囃子のふるさと 桧垣本八幡神社	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
15	張子の仏に願いを込めて 桧垣本釈迦堂	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
16	安佐寺ゆかりの仏たち 馬佐薬師堂	名所遺産	馬佐	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
17	吉野最大級 北六田の木造倉庫群	近現代遺産	北六田	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
18	ふるさとを見守る ムクノキの巨樹	自然遺産	比曾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
19	子どもに恵まれますように 上比曾のいのこ	民俗遺産	比曾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
20	椿井の杜の鎮守さま 水分神社	名所遺産	増口	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分

2017年度おおよど遺産（大淀町選定地域遺産）リスト一覧

No.	名称	分類	地域	選定年月日	備考
21	ほとけの心とやさしい言葉 花岡大学の童話作品	もの遺産	佐名伝	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
22	氏神さんに祈る日々 戦勝祈願の絵馬	近現代遺産	薬水	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
23	こもればはふるさとの灯 車坂古道	名所遺産	今木・下渚	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
24	近代化を支えた和漢薬 大岩の薬業遺産	近現代遺産	大岩	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
25	古風な宮座の神事 天髪王神社のトヤワタシ	民俗遺産	矢走	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
26	オンリーワン!の狛犬 天髪神社	名所遺産	持尾	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
27	鐘の音色は姫の声 正覚寺の梵鐘	もの遺産	芦原	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
28	500年続く龍神さまの記憶 畑屋の湯釜	もの遺産	畑屋	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
29	うったきさんへ牛つれて 牛滝まつり	民俗遺産	馬佐	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
30	みこしに乗って夏祭り 水神祭	民俗遺産	下渚	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
31	弥生人が入っています 常門遺跡の壺	もの遺産	越部	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
32	のぞいてびっくり 槇ヶ峯の古墳群	名所遺産	新野	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
33	北六田創村物語 毘沙門講の古文書	もの遺産	北六田	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
34	吉野の原風景がみえる 岸田日出男の遺したもの	近現代遺産	北六田	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
35	伊勢と和歌山をつなぐ道 伊勢南街道のまちなみ	景観遺産	増口	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
36	あの山のむこうに伊勢がある 高見地蔵	名所遺産	西増	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
37	お伊勢さんのおかげです おかげ灯籠	民俗遺産	中増	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
38	目で見る阿弥陀さんの世界 観経曼荼羅	もの遺産	中増	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
39	受け継がれる伝統の技と志 茶の里・増	わざ・景観遺産	中増・増口	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分

2017年度おおよど遺産（大淀町選定地域遺産）マップ



- 番号は別紙一覧表の番号に対応しています。
- ◆は2017年度に選定されたおおよど遺産です。
- は2016年度に選定されたおおよど遺産です。

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字佐名伝
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> こころ ことば はなおかだいがく どうわさくひん ほとけの心 とやさしい言葉 花岡大学の童話作品 </p>			
④ 説明			
<p>花岡大学（1909 - 1988）は大淀町西部、佐名伝出身の児童文学（童話）作家です。仏教の精神（ほとけの心）を土台に、童話のスタイル（やさしい言葉）で綴った作品を数多く残しています。梨畑が一面にひろがる大阿太高原の一角には、彼の名作「百羽（ひゃっぱ）のつる（1965年の作品）」の一節を刻んだ童話碑が、昭和61年（1986）に建てられています。</p>			
⑤ 写真			
 <p style="text-align: center;">大阿太高原に建つ童話碑</p>			
⑥ 連絡先	浄迎寺		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字 <small>くすりみず</small> 薬水
③ 名称			
<p>うじがみ いの ひ び せんしょうきがん え ま 氏神さんに祈る日々 戦勝祈願の絵馬</p>			
④ 説明			
<p>大淀町内の神社には多くの絵馬が奉納されています。本町西部の薬水八幡神社にも、天保6年(1835)9月の墨書きが記されたものをはじめ、幕末から明治期にかけての大絵馬が計5点残されています。これらの絵馬は、軍船と戦勝祈願を描いた作品が多く、日本をとりまく諸外国とのあつれきや、地域住民の切実な思いが刻まれた、「時代の語り部」としても忘れ得ないものです。</p>			
⑤ 写真			
 <p style="text-align: center;">天保6年の大絵馬</p>			
⑥ 連絡先	薬水八幡神社・薬水区 (区長)		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 ^{いまき} 今木・ ^{しもぶち} 下泷
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> こもれびはふるさとの 灯 車坂古道 </p> <p style="text-align: center; font-size: 0.8em;"> あかり くるまざかこどう </p>			
④ 説明			
<p>大淀町の山中には数多くの古道が残されています。たとえば「車坂古道」。本町西部の今木地区の国道脇から、車坂峠の頂上にある石塚遺跡（大淀町指定文化財）へとぬける山道です。多くの旅人たちが往復した歴史街道ですが、およそ半世紀の間にすっかり竹やぶとなっていました。近年、地元の有志の人々によって道が再整備され、こもれびの中の散策路として復活しました。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>車坂古道</p> </div> </div>			
⑥ 連絡先	大淀町教育委員会		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字大岩 ^{おおいわ}
③ 名称			
<p>きんだいか ささ わかんやく おおいわ やくぎょういさん 近代化を支えた和漢薬 大岩の薬業遺産</p>			
④ 説明			
<p>大淀町の近代化を支えた伝統産業のひとつが薬業です。残された史料によると、幕末の文久3年（1863）頃、本町西部の大岩地区に、榊田安兵衛という合薬屋がいました。その後、近隣の村々で和漢薬（製薬・売薬）に携わるネットワークができ、明治・大正期には製薬会社も設立されました。大岩地区の家々には、薬祖とされる神農さんの掛け軸など、多くの遺産が保存されています。</p>			
⑤ 写真			
			
<p style="text-align: center;">神農さん</p>			
⑥ 連絡先	大岩自治会（会長）		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字 ^{やばせ} 矢走
③ 名称			
<p>こふう みやざ しんじ てんぱつおうじんじゃ 古風な宮座の神事 天髪王神社のトヤワタシ</p>			
④ 説明			
<p>大淀町北部の矢走地区は、中世に遡る神像をまつる天髪（天八）王神社を氏神とし、地区全体で宮座を構成しています。10月の秋祭では神社の境内で、氏子の身を清める湯立神事がおこなわれた後、トヤワタシと呼ばれる古風な神事があります。ゴザに並んで座ったトヤと神主が、氏子総代のふるまいを受けた後、三本の扇をつけた御幣を、前年のトヤから次年のトヤへ渡す儀式です。</p>			
⑤ 写真			
 <p data-bbox="655 1832 911 1868">トヤワタシのようす</p>			
⑥ 連絡先	天髪王神社・矢走区（区長）		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字持尾 ^{もちお}
③ 名称			
<p style="text-align: center;">オンリーワン!^{こまいぬ}の狛犬 ^{てんぱつじんじゃ}天髪神社</p>			
④ 説明			
<p>大淀町北部の持尾地区には、氏神（タケミナカタ）をまつる天髪神社があります。本殿におさめられた6体の男神・女神坐像は、中世にさかのぼる持尾村の古い歴史を物語っています。</p> <p>その本殿の両脇に対でおかれた木造の狛犬には、「天保11年（1840）9月吉日 葛上郡戸毛村 家本幸助作」の墨書きがあり、そのユーモアあふれる表情で神社を守り続けています。</p>			
⑤ 写真			
 <p style="text-align: center;">天髪神社の狛犬</p>			
⑥ 連絡先	天髪神社・持尾区（区長）		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字 ^{あしはら} 芦原
③ 名称			
<p>かね ねいろ ひめ こえ しょうかくじ ほんしょう 鐘の音色は姫の声 正覚寺の梵鐘</p>			
④ 説明			
<p>大淀町北部、芦原地区の正覚寺に残る、高さ113cmの梵鐘。そこには、当寺を菩提寺（ぼだいじ）とした、真田幸村の末裔と伝える「土井孫右衛門」の名と、五位堂（現香芝市）に代々続いた鋳物師（いもじ）の名が刻まれています。享保4年（1719）の銘をもつ、町内最古の梵鐘です。</p> <p>この鐘には、生涯声が出せずに夭折（ようせつ）した〈かずえ姫〉の話が伝わっています。その父親は「この鐘の音を姫の声だと思っておくれ」といって、涙ながらに鐘を寄進したといひます。</p>			
⑤ 写真			
 <p style="text-align: center;">正覚寺の梵鐘</p>			
⑥ 連絡先	正覚寺・芦原区（区長）		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字 ^{はたや} 畑屋
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> ^{ねんつづ} ^{りゅうじん} ^{きおく} ^{はたや} ^{ゆがま} 500年続く龍神さまの記憶 畑屋の湯釜 </p>			
④ 説明			
<p>大淀町北部の畑屋地区には、町内でもっとも古い室町時代の湯釜があります。この湯釜は鉄製で、口径 27cm、脚の高さ 26cm、3 本の鬼面のある脚で支えられています。表側に「畑屋九頭神之宮」の文字と「文明 11 年（1479）」の銘があります。畑屋という地名が 500 年以上遡ることや、畑屋地区の氏神・八大龍王が、かつて「九頭神（くずかみ）」とも呼ばれていたこと、この地域が古くからの龍神信仰を伝えていることなどを、静かに物語っています。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">湯釜（全形と銘文拡大）</p>			
⑥ 連絡先	畑屋区（区長）		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字馬佐 ^{ばさ}
③ 名称			
<p style="text-align: center;">う^{うし}ったきさんへ牛つれて う^{うしたき}たき 牛滝まつり</p>			
④ 説明			
<p>大淀町中部、馬佐地区の氏神・天照皇太神宮は、天照大神をまつる本殿の両脇に、弁天社と牛頭天王をまつる八阪神社があります。とくに八阪神社は、牛の守護神「牛滝（うったき）さん」と呼ばれてきました。毎年9月の「牛滝まつり」では、農家が自慢の牛をつれて参り、相撲や神楽でにぎわったといえます。牛がいなくなった今でも、うったきさんに豊作を祈る村人の心は変わりません。</p>			
⑤ 写真			
			
<p style="text-align: center;">八阪神社を守る牛の石像（明治26年・1893年製）</p>			
⑥ 連絡先	馬佐区（区長）		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字 ^{しもぶち} 下湊
③ 名称			
の なつまつ すいじんさい みこしに乗って夏祭り 水神祭			
④ 説明			
<p>大淀町中部、下湊地区の氏神・下湊八幡神社の境内には、吉野川の大洪水で上流から流れてきた神をまつる水神社があります。7月下旬におこなわれる水神社の夏祭りでは、今の社殿から、明治40年（1907）までの旧社地・吉野川沿いの鈴ヶ森まで、水神さんに乗せた神輿（みこし）が下湊の街中をオワタリ（巡行）するならわしとなっています。祭りを盛り上げる太鼓台（子どもみこし）も、地域の宝として大切に守られています。</p>			
⑤ 写真			
 <p>子どもみこしのようす（2017年7月）</p>			
⑥ 連絡先			
下湊八幡神社 下湊新町1丁目区（区長）・同西町1丁目区（区長）・同岡崎2丁目区（区長）			

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字 ^{こしへ} 越部
③ 名称			
<p>やよいじん はい じょうどいせき つぼ 弥生人が入っています 常門遺跡の壺</p>			
④ 説明			
<p>大淀町中部の越部地区には弥生時代にさかのぼる遺跡があり、地名をとって常門遺跡と呼ばれています。ここからは、ため池の工事中に約 2,000 年前（弥生時代中期）の文様を刻んだ壺形土器がみつかっています。高さ 60cm で、ほぼ完全な形で残っているため、埋葬用の土器棺として使われたと想定されています。吉野川流域の弥生文化が詰め込まれた貴重な土器です。</p>			
⑤ 写真			
 <p data-bbox="587 1803 979 1839">常門遺跡でみつかった壺形土器</p>			
⑥ 連絡先	大淀町教育委員会		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 ^{にの} 新野
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> のぞいてびっくり ^{まきがみね} 槇ヶ峯の古墳群 </p>			
④ 説明			
<p>大淀町中部、越部地区と新野地区の北方にまたがる丘陵が槇ヶ峯です。この丘陵上には、横穴式石室をもつ6世紀後半から7世紀にかけての古墳が点在しています。なかでも、和歌山県・紀ノ川下流域の横穴式石室に特徴的な「石棚」をもつ槇ヶ峯古墳（大淀町指定文化財）、新野稻荷神社の境内にある稻荷山古墳は、石室の中に入って見学もできます。ぜひのぞいてみて下さい。</p>			
⑤ 写真			
			
<p>槇ヶ峯古墳（手前）とあずま屋（奥）</p>			
⑥ 連絡先	大淀町教育委員会・新野区（区長）		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字 ^{きたむだ} 北六田
③ 名称			
<p>きたむだ そうそんものがたり 北六田創村物語</p> <p>びしゃもんこう こもんじょ 毘沙門講の古文書</p>			
④ 説明			
<p>大淀町東部の北六田地区、安養院の境内に毘沙門堂があります。『大淀町史（1973年）』によると、吉野川の対岸、吉野町六田の毘沙門天を勧請したのが、北六田の「古座（毘沙門講）」のはじまりといえます。その由来を記した古文書「毘沙門天産経営費其他雑記」と、文政3年（1820）の「宮座諸入用帳」は、新座（氏神・櫛屋神社）ができる前の北六田の歴史を物語る貴重な史料です。</p>			
⑤ 写真			
 <p style="text-align: center;">毘沙門講の古文書</p>			
⑥ 連絡先	北六田毘沙門講・北六田区（区長）		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字北六田 ^{きたむだ}
③ 名称			
よしの げんふうけい 吉野の原風景がみえる きしだ ひで お のこ 岸田日出男の遺したもの			
④ 説明			
大淀町東部、北六田地区出身の岸田日出男（1890-1959）は、昭和 11 年（1936）に指定された「吉野熊野国立公園」の父と呼ばれています。彼が暮らした北六田地区の自宅には、指定運動にかかわる調査・研究資料と共に、植物のスケッチや標本、絶滅したニホンオオカミとみられる動物の頭骨、約 100 年前の吉野の原風景を映した古写真、映画フィルムなどが遺されていました。			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">国立公園指定運動の記録と オオヤマレンゲの自筆スケッチ（岸田日出男資料）</p>			
⑥ 連絡先	大淀町教育委員会		

① 分類	景観遺産	② 地域	大淀町大字増口 ^{ましぐち}
③ 名称			
<p>いせ わかやま みち いせみなみかいどう 伊勢と和歌山をつなぐ道 伊勢南街道</p>			
④ 説明			
<p>伊勢南街道は、奈良・三重県境の高見山（高見峠）を越えて、松阪市（三重県）と和歌山市をつないだ和歌山街道の別称です。和歌山藩主が江戸へむかう、参勤交代の東西道としてもにぎわいました。大淀町では、西端の佐名伝地区から東端の増口地区まで、吉野川の北岸に沿った約 10 km がこれにあたり、道沿いには当時の道標も残っています。とくに増口地区は、大和棟の家や土蔵など、かつてのまち並みがよく保存されており、往来した旅人たちの面影を偲ぶことができます。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>伊勢南街道のまち並み（西から）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>同（東から）</p> </div> </div>			
⑥ 連絡先	増口区（区長）		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 ^{にしまし} 西増
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> ^{やま}あの山のむこうに^{いせ}伊勢がある ^{たかみじぞう}高見地蔵 </p>			
④ 説明			
<p>昔、吉野を通して伊勢まで旅する人は、高見山を目印に歩いたといひます。大淀町東部の西増地区にも、興味深い物語が伝わっています。「私が死んだら、高見山が見えるところに地蔵をおいてほしい」。西増地区・東福寺の高僧の遺言で、延享2年（1745）、高見地蔵が作られました。吉野と伊勢の境にある高見山の頂きを見つめて、向きを変えることなく今もそこにあります。</p>			
⑤ 写真			
			
<p style="text-align: center;">高見山をみつめる地蔵</p>			
⑥ 連絡先	西増区（区長）		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字中増 ^{なかもし}
③ 名称			
<p style="text-align: center;">いせ どうろう お伊勢さんのおかげです おかげ灯籠</p>			
④ 説明			
<p>大淀町東部、中増地区の小幡神社境内には、天保2年（1831）の銘を刻んだ石灯籠があります。そこには、ひらがなで「おかげ」の文字が刻まれています。江戸時代の終わり頃に流行した、伊勢神宮へ参詣する「おかげ参り」のなごりです。吉野川沿いにつらなる伊勢南街道から離れた山間部でも、お伊勢さんに向かって歩いた人々の記憶が語り継がれています。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">小幡神社境内のおかげ灯籠</p>			
⑥ 連絡先	小幡神社・中増区（区長）		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字中増 ^{なかもし}
③ 名称			
<p style="text-align: center;">め み あみだ せかい かんぎょうまんだら 目で見える阿弥陀さんの世界 観経曼荼羅</p>			
④ 説明			
<p>大淀町北部・中増地区の安養寺には、江戸時代の享保5年（1720）8月の裏書きをもつ、一辺約2mの大きな絵図があります。これは、中将姫伝説で知られる當麻寺（葛城市）の「根本曼荼羅」をモデルに作られたもので、阿弥陀如来浄土を中心とした経典『観無量寿経』の世界を忠実に極彩色で表現していることから、「観経曼荼羅（観経变相図）」と呼ばれています。奈良県内でも数例しか残っておらず、吉野地域の浄土信仰を伝える文化遺産として貴重なものです。</p>			
⑤ 写真			
<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">安養寺の観経曼荼羅</p>			
⑥ 連絡先	安養寺・中増区（区長）		

① 分類	わざ遺産・景観遺産	② 地域	大淀町大字 ^{なかまし} 中増・ ^{ましぐち} 増口
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> ^{でんとう} ^{わざ} ^{こころざし} ^{ちゃ} ^{さと} ^{まし} 受け継がれる伝統の技と 志 茶の里・増 </p>			
④ 説明			
<p>大淀町東部一帯は伝統的な製茶の里として知られています。茶畑の広がる中増地区の安養寺には、この地に効率的な製茶の技を伝えた恩人・籠屋忠次郎（-1837）の墓碑（供養碑）があります。また、大正3年（1914）建立の吉野郡茶業組合の碑（増口地区）にも、当時「増の里」が吉野随一の茶の産地として隆盛した歴史や、その普及に生涯をささげた先人たちの志が刻まれています。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>茶畑の景観（中増）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>茶業記念碑（増口）</p> </div> </div>			
⑥ 連絡先	安養寺・中増区（区長）・増口区（区長）		

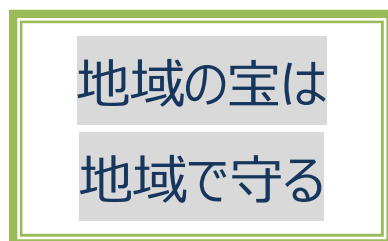
このパンフレットを手にとっていたいただいた皆様へ

大淀町では、2016年度に策定した、「大淀町地域遺産保存・活用制度」実施要綱にもとづき、町内各地域に残された様々な遺産（地域遺産）のなかから、とりわけ魅力あるストーリー（物語）をもつものを、有形・無形を問わず「おおよど遺産」として選定し、地域住民と行政が協働でおこなう保存・活用を目指しています。

このパンフレットでは、大淀町が町内各区・自治会の推薦をうけ、大淀町地域遺産会議での審議等を経て、2017年度に選定した19件の「おおよど遺産」を紹介しています。

「おおよど遺産」は、大淀町内各地の歴史・文化を特徴づけるとともに、地域住民の心の拠りどころとして、また、大淀町を訪れる人々にも、地域に愛着を感じていただくきっかけとして、そして、地域文化を持続させ、次世代へとつなぐ記憶のバトンとして活かされることが大いに期待されるものです。

これからも、大淀町が推進する、「おおよど遺産」を活かした地域文化の保存・継承と活性化事業に、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。



<大淀町地域遺産保存・活用事業>

編集・製作 大淀町・大淀町教育委員会

2018年3月

〒638-0812 奈良県吉野郡大淀町桧垣本 2090 番地

大淀町地域遺産会議事務局（大淀町教育委員会）

電話：0747-54-2110 ファックス：0747-54-2112